

経営比較分析表（令和2年度決算）

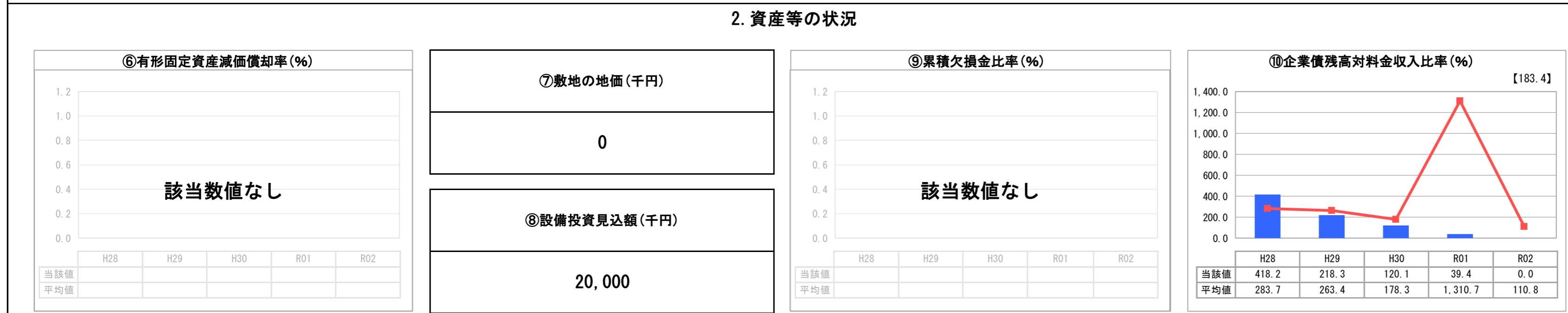
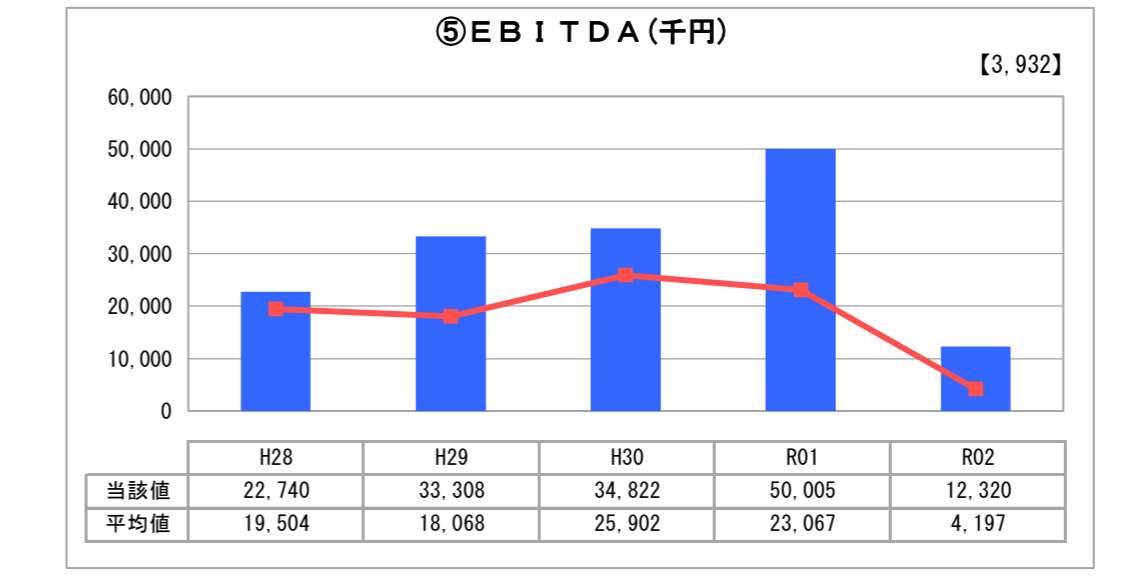
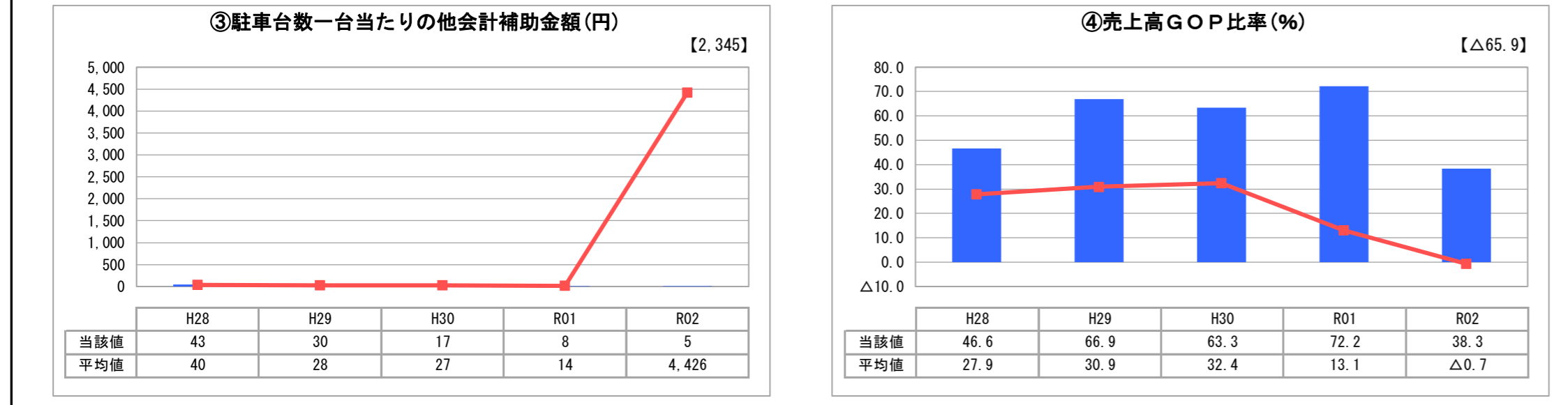
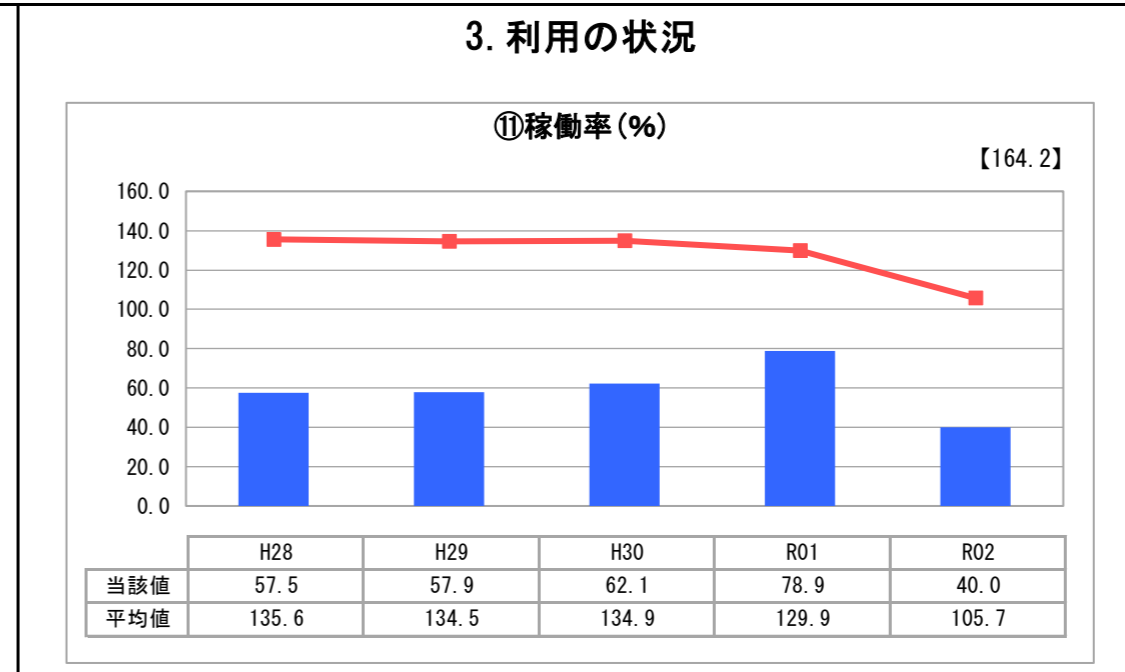
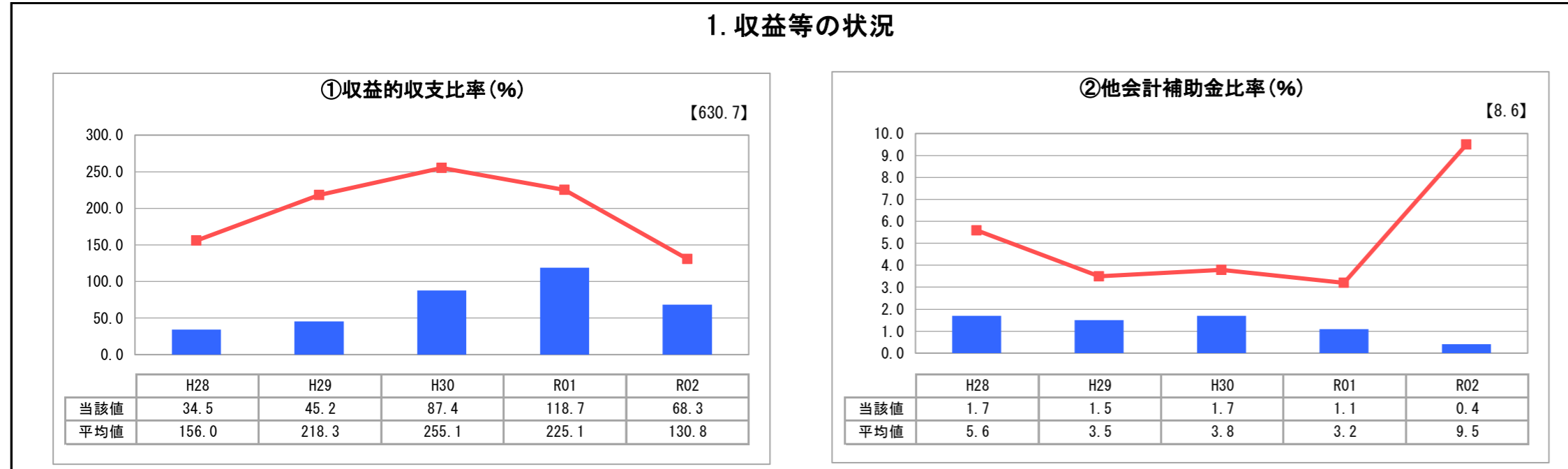
兵庫県三田市 新三田駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	22	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	7,938
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
280	300	代行制

グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について
 コロナ禍による使用料収入の減により、収益的収支比率、売上高GOP比率、EBITDAが前年度に比べ低下している。
 地方債の償還が令和2年度で満了するため、令和3年度以降の収益的収支比率は上昇する見込みであるが、コロナ禍が収束するまでは使用料収入の回復は見込めないため、売上高GOP比率、EBITDAは令和3年度も低下したままと予想される。

2. 資産等の状況について
 地方債の償還が令和2年度で満了するため、今後は施設・設備の大規模修繕や更新の費用が主な資産に係る経費となる。
 当該施設は建設後20年以上経過しており、今後、設備等の大規模な改修が必要となるため、計画的に改修を行っていく必要がある。

3. 利用の状況について
 コロナ禍の影響で、稼働率は減となっている。稼働率の回復は、コロナ禍の収束後になると考えられる。
 また、新三田駅前の土地区画整理事業後の土地利用の動向など、稼働率に影響を与える要因も考えられる。

全体総括
 令和2年度はコロナ禍の影響を受け使用料収入が減となったが、今後は、地方債の償還終了に伴う経理状況の改善も予想される。
 建設後20年を経過した施設設備については、長期的な収支予測を踏まえた大規模改修の計画的な実施が必要となってきている。
 コロナ禍による使用料収入減の状況でも経営を維持できるように経費の削減を進めるとともに、適切に施設の維持管理を行い、新三田駅前の土地区画整理事業後の土地利用の動向を注視しながら稼働率の増加に向けた取り組みを進め、今後の健全経営につなげていく予定である。